

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	津久井やまゆり園千木良園舎(仮称)新築及び改修工事 居住棟1	階数	地上2F
建設地	相模原市緑区千木良461-4他16筆	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居、第一種低層住居、第二種中高層住居	平均居住人員	70人
地域区分	5地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年4月 予定	評価の実施日	2021年4月28日
敷地面積	5,104㎡	作成者	株式会社奥野設計 横浜事務所
建築面積	1,444㎡	確認日	2021年5月6日
延床面積	2,710㎡	確認者	株式会社奥野設計 横浜事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
室内環境、サービス性能、室外環境(敷地内)、エネルギー、資源・マテリアル、敷地外環境を基本に環境に配慮された計画であり、全体的に概ね標準的な配慮がされた計画である。	特になし	
Q1 室内環境 光視環境において、光庭を設け、自然採光・通風に配慮した計画である	Q2 サービス性能 サービス性能において、個室天井高さを2.5m確保し広さ景観に配慮した計画である。	Q3 室外環境(敷地内) まちなみ景観への配慮、地域性への配慮がなされた計画である。
LR1 エネルギー エネルギーにおいて自然エネルギー利用(光庭)を積極的に計画し環境負荷低減性に配慮した計画である	LR2 資源・マテリアル 資源・マテリアルにおいて節水型器具の使用、躯体と仕上げが容易に分別できる計画とし環境に配慮した計画である。	LR3 敷地外環境 敷地外環境において交通負荷に配慮した計画であり周辺への排気ガスの影響を控えた計画である

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される